

平成 28 年 12 月 6 日

小山市議会議長

関 良 平 様

小山市議会報告会運営委員会

委 員 長 小 川 亘

議会報告会実施報告書

1 開催日時	平成 28 年 11 月 17 日、18 日
2 開催場所	6 カ所にて開催した。 小山城南市民交流センター、桑市民交流センター、絹公民館、小山東出張所、間々田市民交流センター、中公民館
3 出席議員	議員 28 名 担当：第 1 班（絹、穂積） 第 2 班（桑、間々田） 第 3 班（城南、大谷）
4 参加者数	6 6 名
5 実施内容	・平成 28 年第 3 回定例会審議内容報告、質疑応答 ・意見交換会 議会改革、ロブレ、本庁舎、その他
6 主な質疑と回答	<p>〈議会に関すること〉</p> <p>Q. 市民の代弁者として議会は想いを受け取ってくれると信じて陳情を出したが、陳情を出した人の想いを汲み取っているとは執行部と議員のやりとりの中で見えて来ない。陳情が不採択なのは書き方が悪いのか。</p> <p>A. 陳情の取り扱いについても議会改革の中でしっかりとルールづくりをして対応できるように改革していく。</p> <p>Q. 政務活動費はどのように支払われているのか。</p> <p>A. 5 月頃支払われ、3 月末に使っていない部分を戻している。</p> <p>〈議会報告会に関すること〉</p> <p>Q. 議会報告会は、読むだけでなく市民に届く内容にしてもらいたい。議会報告会はどのように集約されるのか。</p>

A. 報告書を議長に提出する。議会として取り組み、出されたものを議会の中で発言をして、執行部にも報告をしていく。

〈辞職勧告決議に関すること〉

Q. 角田副議長は一向に辞めるつもりはない様だが。

A. 辞職勧告をしている。法的に自ら辞職しない限り辞めさせることはできない。信頼回復に向けていきたい。役職、市議辞職していくよう話をする。議会で辞職勧告をする。

Q. なぜ角田議員は辞職勧告に応じないのか。辞めさせるべき。

A. 今後も説得をしていく。

〈その他〉

Q. 総合評価落札方式とは。

A. 価格の面だけではなく、技術者や内容等を加味して評価して落札する方式です。

Q. 第四工業団地の場所は。

A. 鉢形。

Q. 平成27年度決算について、人件費を削減し過ぎている。どこまで引き下げのつもりか。

A. 指定管理や業務委託になっている部分も多い。これ以上、職員減はきつい。

Q. ロブレについて、駐車場の利便性を良くして頂きたい。おやま本場結城紬クラフト館が暗いので、別なところに移転してもらいたい。

A. キーテナントが決まりそうであり、3月オープンに向けて準備中である。テナントが決まればロブレも変わっていく。意見をとりまとめて報告をする。

Q. 新庁舎については賛成であるが、設計についてはしっかりしたものを作ってもらいたい。職員食堂にタニタなどの食事を提供してもらいたい。市役所があるから空洞化が止まっているので、本庁舎を移転してもらいたくない。西口の方は高齢化が進んでいるので移転することなく進

	<p>めてもらいたい。</p> <p>A. 様々な意見として執行部に伝える。</p> <p>Q. 角田良博議員に対する辞職勧告について。</p> <p>Q. 絹義務教育学校スクールバス運行業務委託について。</p> <p>Q. A L T 派遣業務委託について（配置、採用基準）。</p> <p>Q. 陳情第 28 - 8 号について。</p> <p>Q. 与良川水系の排水機場と国営かんがい排水事業との関連性。</p> <p>A. 各々、資料に基づき再説明し理解を得る。</p> <p>Q. 大谷北小学校（犬塚、16 区投票所）の案内地図の訂正箇所がなかなか直らない。早急に直してほしい。</p> <p>A. 選挙管理委員会に伝える。</p>
7 意見、要望等	<p>〈議会に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情に対しては現地調査を行うなど、十分に調査してほしい。 ・ 副議長の辞職勧告を再度やるべき。 ・ 行政を管理するのが議員である。市民の声を伝えてもらいたい。 ・ 議事録が使いにくい。半年後ではなく、迅速にしてもらいたい。 ・ ホームページの市議会のアイコンを、市長の部屋の下にしてもらいたい。 ・ 議員定数が一人減れば 1 千万円位減るが、市民の声が届きにくくなる。 ・ 議員定数を減らすのではなく、小さな声を行政に届けてもらいたい。 ・ 政治倫理審査会は豪雨災害後にやるのではなく、やるタイミングを考えてもらいたかった。 ・ 政務活動費の公開について。 ・ より良い市政となるよう、政務活動費等の問題などで足が引っ張られることがないようにしてもらいたい。

〈議会報告会に関すること〉

- ・議員が各地区に出向いて議会報告をしてくれるのは、他の自治体ではやっていないと思うので良い。
- ・審議内容の報告は短時間でいいので、質問時間を長くしてほしい。
- ・資料の報告事項に、質疑内容を全部記載すべき。
- ・議会報告会を定例会後に毎回やるべき。

〈議会改革に関すること〉

- ・議会改革の常任委員会の複数所属は良いと思う。
- ・ハイビジョン化の効果が何なのか分からない。
- ・タブレット端末のペーパーレス化についていけない議員もいるのではないか。
- ・ペーパーレスだと印刷代等削減できてエコである。
- ・議会だより等もいずれはインターネットとなるのか。
- ・ハイビジョン化しても市民にメリットはないのではないか。

〈絹義務教育学校スクールバス運行業務委託に関すること〉

- ・絹義務教育学校のスクールバスの運行に対し保護者の不安が拡大している。何かあった場合、応急手当など執行部は運転手に一任するとの答弁だった。先生を添乗して欲しいとの要望がある。事故があってからでは遅い。ある前に対策して欲しい。座る位置等のイジメの心配。
- ・他の自治体に議員が視察に行きスクールバスの安全対策の取り組みについて、スクールバスの運行状況を調べて執行部に提案して欲しい。
- ・山間部のスクールバスの状況を聞くと運転手一人のようなので、運転中に児童に目配りできる資質のある方に運転手をお願いしたい。
- ・低学年の児童にシートベルトをして座れるか心配なので事前に予行練習をして欲しい。データではなく保護者にバスの運行について安心感を持たせるべき。

〈本庁舎に関すること〉

- ・市庁舎の問題は建て替えするべき。改築をしても分散された庁舎が解消されない。
- ・庁舎建設について、財政を考えてほしい。

〈住宅に関すること〉

- ・小山市では住宅団地の開発は今後あるのか。
- ・野木でお墓問題があったが、住宅販売とお墓のセットではないと揉め事になるのではないのか。

〈その他〉

- ・栃木市でも小山市のキッズランドに注目している。
- ・昨年の水害時、防災無線がほとんど聞こえなかった。2025年問題もあり災害時に高齢者に対しどのように対応するのか。
- ・災害時、テレビでは他の地域の情報が分かるが、目の前の災害情報がないので地域密着した情報が欲しい。
- ・豊田地区もいずれ小中一貫校になると思うが、地域のシンボルである学校がなくなるのは、地域の人はどうのような想いでいるのか。統廃合により学校跡地利用についてはどうなるのか心配である。
- ・農村地域の活性化に繋がるので、観光バスが県南公設市場に入れるようにするなど市場の活性化をお願いしたい。
- ・ふれあい健康センターなど無駄遣いが多い。
- ・市民病院の進入方法を検討してほしい。
- ・三峯の道路拡幅について。